

# 【小施策評価(平成29年度実績評価)】

## 小施策の総合計画における位置付け

基本目標	1	人がいきいきと暮らすまちづくり	小施策 主管課等	消防対策室	
施策	8	安全・安心な暮らしの確保	評価 責任者	中野 聡範	内線 698-2550
小施策	8-3	消防・救急の充実	評価 シート 作成者	館林 春美	内線 698-2551

## 小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
<p>・複雑多様化、また高齢化が進む現代社会において、火災をはじめとする各種災害に迅速かつ的確に対応し、市民の生命、身体及び財産を守るため、消防機能と消防体制の充実・強化を図る必要がある。</p> <p>・火災から市民の生命を守るため、住宅防火対策の啓発や事業所の防火管理体制の徹底などにより、防火意識の高揚を図る必要がある。</p> <p>・地域に精通し、大きな防災の力として活躍する消防団員が、年々高齢化や減少傾向にあることから、地域や関係団体と連携しながら、団員の確保を図る必要がある。</p>	<p>火災の発生を防ぐため、市民の防火意識の向上を図るとともに、常備消防及び消防団の消防力を充実させる。また、救命率向上のため、救急救助体制の充実を図る。</p>
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
<p>市民</p> <p>消防団</p> <p>市域</p>	<p>応急手当の正しい知識と技術を普及する。</p> <p>火災に迅速に対応できる。</p> <p>火災が少なくなる。</p>

## 小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価		
指標	単位	目指す方向	成果点	成果の要因分析	問題点	
指標① 消防団員の充足率	%	↗	<p>・平成27年度から新採用職員等消防団体験入団を継続して実施し、1年間の体験期間後に消防団員を継続している職員が25人となった。</p> <p>・消防団装備の充実を図り、消防団員が活動しやすい環境を整えた。</p> <p>・平成29年12月から県が実施した消防団員を優遇する「いわて消防団応援の店登録事業」に積極的に協力し、29年度末で盛岡市の登録店舗数は2店舗となった。</p> <p>・盛岡市学生消防団活動認証制度実施要綱を策定した。(平成30年4月より実施)</p>	<p>・消防団体験入団により、新採用職員が消防団活動を通して地域の一員として積極的に地域活動へ参加する環境ができたことで、消防団員数の増加につながった。</p> <p>・消防団装備計画を策定し計画的な配備を行ったため、消防団装備の充実が図られた。</p>	<p>・消防団員数の減少や高齢化が進んでいる。</p> <p>・消防団員の優遇制度、学生の消防団活動認証制度を実施しているが、消防団員数増加にはつながっていない。</p>	
当初値 (H25)	76.7		H31目標値	79.0	H36目標値	81.0
指標② 消防水利の充足率	%	↗	<p>・充足率が上がっておらず、成果が出ていない。</p>	<p>・特になし</p>	<p>・準市街地の防火水槽の設置が進まない。</p>	
当初値 (H25)	97.8		H31目標値	98.3	H36目標値	98.8
指標③ 救命講習の受講者数	人	→	<p>・救命講習受講者数が9,548人と前年度から増加し、目標値の8,000人を大きく上回った。</p>	<p>・定期講習及びeラーニング講習を開始したことによる。</p> <p>・応急手当の必要性の普及について、自主防災組織を含む町内会・自治会に研修等の機会を捉えながら働きかけを行ったことによる。</p>	<p>・目標値を上回ったことから「問題なし」と考える。</p>	
当初値 (H25)	8,752		H31目標値	8,000	H36目標値	8,000

## 今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性
<p>★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 新採用職員等消防団体験入団を継続して実施する。</li> <li>★ 消防団装備の計画的な配備を実施する。</li> <li>★ いわて消防団応援の店登録事業店舗数を増加させる。</li> <li>★ 盛岡市学生消防団活動認証制度の周知を図る。</li> </ul> <p>☆1 計画的に配備している消防団の装備について、定期的に貸与(更新)するため、被服等の貸与に関する要領の策定を進める。</p> <p>☆2 導入の効果が期待できる機能別消防団員制度がないかどうか、消防団との協議を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 関係機関との協議を引き続き行い、消防水利の充足率が低い準市街地の防火水槽の設置を進める。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 立入検査や避難訓練指導等の機会を捉え、救命講習普及活動を継続的に行う。特に、小・中・高の各学校教育における、生徒及び保護者に対する救命講習普及活動の強化を検討する。</li> </ul>

実績値の推移				実績の評価															
指標④ バイスタンダーCPR実施率		単 位	目指す方向	成 果 点	成果の要因分析														
当初値 (H25)	45.1	%	↗																
H31目標値	49.0																		
H36目標値	49.0																		
<table border="1"> <caption>実績値の推移 (線グラフ)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値 (H25)</td> <td>45.1</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>42.5</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>45.1</td> </tr> <tr> <td>H31目標値</td> <td>49.0</td> </tr> <tr> <td>H36目標値</td> <td>49.0</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実績値 (%)	当初値 (H25)	45.1	H27	49.6	H28	42.5	H29	45.1	H31目標値	49.0	H36目標値	49.0	・バイスタンダーによる心肺蘇生法実施率は、前年と比較すると上昇している。 ・目標値に達していない。	・定期講習, eラーニング講習を開始し、ホームページにより広報したことによる成果が認められる。 ・バイスタンダーの高齢化による未実施率の増加が要因と分析する。
年度	実績値 (%)																		
当初値 (H25)	45.1																		
H27	49.6																		
H28	42.5																		
H29	45.1																		
H31目標値	49.0																		
H36目標値	49.0																		
				問 題 点	問題の要因分析														

評価を踏まえた取組の方向性

★…30年度着手済または着手予定  
☆…31年度以降の着手を検討

★ 自主防災組織を含む町内会, 自治会の研修等の機会を捉え, 救命講習普及活動を行い, 心肺蘇生法の重要性について講習を行う。